

胃がん

【S-1+ドセタキセル療法】

【DS術後補助療法】

【ニボルマブ単独療法】

【S-1単独療法】

【Weekly パクリタキセル単独療法】

【Weekly パクリタキセル+ラムシルマブ療法】

【Weekly アルブミン懸濁型パクリタキセル単独療法】

【Weekly アルブミン懸濁型パクリタキセル+ラムシルマブ療法】

【Tri-Weeklyアルブミン懸濁型パクリタキセル単独療法】

【S-1+オキサリプラチン療法】

【SOX療法】

【S-1+オキサリプラチン+トラスツズマブ療法】

【SOX+トラスツズマブ療法】

【カペシタビン+シスプラチン療法】

【XP療法】

【カペシタビン+シスプラチン+トラスツズマブ療法】

【XP+トラスツズマブ療法】

【カペシタビン＋オキサリプラチン療法】

【CAPOX療法】

【イリノテカンA法療法】

【CPT(A)療法】

【イリノテカンB法療法】

【CPT(B)療法】

【フルオロウラシル＋レボホリナート＋オキサリプラチン療法】

【mFOLFOX6療法】

【S-1＋シスプラチン療法】

【SP療法】

【S-1＋シスプラチン＋トラスツズマブ療法】

【SP＋トラスツズマブ療法】

【S-1＋オキサリプラチン＋ニボルマブ療法】

【SOX+Nivo療法】

【ラムシルマブ単独療法】

【フルオロウラシル＋レボホリナート＋オキサリプラチン＋ニボルマブ療法】

【mFOLFOX6＋Nivo療法】

【トラスツズマブ デルクステカン単独療法】

【カペシタビン＋オキサリプラチン＋トラスツズマブ療法】

【CAPOX＋トラスツズマブ療法】

【カペシタビン＋オキサリプラチン＋ゾルベツキシマブ療法】

【S-1＋オキサリプラチン＋トラスツズマブ＋ペムブロリズマブ療法】

【カペシタビン＋オキサリプラチン＋トラスツズマブ＋ペムブロリズマブ療法】

【カペシタビン＋オキサリプラチン＋ニボルマブ療法】

【CAPOX+Nivo療法】

【S-1+ドセタキセル療法】

【DS術後補助療法】

適応疾患:補助化学療法

投与スケジュール:1クール21日 1コース目

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							



投与スケジュール:1クール21日 2コース～7コース目

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
ドセタキセル	40mg/m ²	60分	●																				



投与スケジュール:1クール42日 8コース目～

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬の名前	推奨投与量	投与時間																												
S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
			29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42														

【ニボルマブ単独療法】

適応疾患:がん化学療法後に増悪した治療切除不能な進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール14日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【S-1単独療法】

適応疾患:補助化学療法・切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール42日（1クール21日の場合もあります。）

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬の名前	推奨投与量	投与時間																												
S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
			29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42														

【Weekly パクリタキセル単独療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール28日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【Weekly パクリタキセル+ラムシルマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール28日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【Weekly アルブミン懸濁型パクリタキセル単独療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール28日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【Weekly アルブミン懸濁型パクリタキセル＋ラムシルマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール28日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【Tri-Weeklyアルブミン懸濁型パクリタキセル単独療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【S-1+オキサリプラチン療法】
【SOX療法】

適応疾患: 切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール: 1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
※S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
オキサリプラチン	100mg/m ²	120分	●																				

※ S-1 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【S-1＋オキサリプラチン＋トラスツズマブ療法】

【SOX＋トラスツズマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
※トラスツズマブ	8mg/kg	90分	●																				
オキサリプラチン	100mg/m ²	120分	●																				
※S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

- ※ トラスツズマブ維持投与量6mg/kg 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可。
- ※ S-1 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【カペシタビン+シスプラチン療法】
【XP療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
シスプラチン	80mg/m ²	120分	●																				
※カペシタビン	2000mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

※ カペシタビン 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【カペシタビン＋シスプラチン＋トラスツズマブ療法】

【XP＋トラスツズマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
※トラスツズマブ	8mg/kg	90分	●																				
シスプラチン	80mg/m ²	120分	●																				
※カペシタビン	2000mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

- ※ トラスツズマブ維持投与量6mg/kg 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可。
- ※ カペシタビン 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【カペシタビン+オキサリプラチン療法】
【CAPOX療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
オキサリプラチン	130mg/m ²	120分	●																				
※カペシタビン	2000mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

※ カペシタビン 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【イリノテカンA法療法】

【CPT(A)療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール28日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【イリノテカンB法療法】

【CPT(B)療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール35日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬の名前	推奨投与量	投与時間																												
イリノテカン	150mg/m ²	90分	●														●													

29	30	31	32	33	34	35

【フルオロウラシル+レボホリナート+オキサリプラチン療法】

【mFOLFOX6療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール14日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【S-1＋シスプラチン療法】

【SP療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール35日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬の名前	推奨投与量	投与時間																												
シスプラチン	60mg/m ²	120分								●																				
S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							

29	30	31	32	33	34	35

【S-1＋シスプラチン＋トラスツズマブ療法】

【SP＋トラスツズマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
※トラスツズマブ	8mg/kg	90分	●																				
シスプラチン	60mg/m ²	120分	●																				
※S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

- ※ トラスツズマブ維持投与量6mg/kg 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可。
- ※ S-1 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【S-1＋オキサリプラチン＋ニボルマブ療法】

【SOX+Nivo療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
ニボルマブ	360mg/body	30分	●																				
オキサリプラチン	100mg/m ²	120分	●																				
※S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

※ S-1 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【ラムシルマブ単独療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール14日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

[illegible]

【Nivo+mFOLFOX6療法】

投与スケジュール:1クール14日

[illegible]

【トラスツズマブ デルクステカン単独療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
トラスツズマブ デルクステカン	6.4mg/kg	90分	●																				

※ トラスツズマブ デルクステカン初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は30分間で投与可。

【カペシタビン＋オキサリプラチン＋トラスツズマブ療法】

【CAPOX＋トラスツズマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
※トラスツズマブ	8mg/kg	90分	●																				
オキサリプラチン	130mg/m ²	120分	●																				
※カペシタビン	2000mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

※ トラスツズマブ維持投与量6mg/kg 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可。

※ カペシタビン 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【カペシタビン＋オキサリプラチン＋ゾルベツキシマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	推奨投与量	投与時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ゾルベツキシマブ	★800mg/m ²	120分 以上	●																				
オキサリプラチン	130mg/m ²	120分	●																				
※カペシタビン	2000mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

- ★ ゾルベツキシマブ 維持投与量は600mg/m²
- ※ カペシタビン 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【S-1+オキサリプラチン+トラスツズマブ+ペムブロリズマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
※トラスツズマブ	8mg/kg	90分	●																				
ペムブロリズマブ	200mg/body	30分	●																				
オキサリプラチン	100mg/m ²	120分	●																				
※S-1	80mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

※ トラスツズマブ維持投与量6mg/kg 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可。

※ S-1 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【カペシタビン＋オキサリプラチン＋トラスツズマブ＋ペムブロリズマブ療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
※トラスツズマブ	8mg/kg	90分	●																				
ペムブロリズマブ	200mg/body	30分	●																				
オキサリプラチン	130mg/m ²	120分	●																				
※カペシタビン	2000mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

※ トラスツズマブ維持投与量6mg/kg 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可。

※ カペシタビン 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。

【カペシタビン＋オキサリプラチン＋ニボルマブ療法】

【CAPOX+Nivo療法】

適応疾患:切除不能進行・再発胃がん

投与スケジュール:1クール21日

使用抗がん剤と治療のスケジュール（●は投与日）（副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	推奨投与量	投与時間																					
ニボルマブ	360mg/body	30分	●																				
オキサリプラチン	100mg/m ²	120分	●																				
※カペシタビン	2000mg/m ² /day		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						

※ カペシタビン 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後夕刻からの投与であれば15日目朝までの内服となる。